

歯と全身疾患

歯の健康は全身の健康に大きく影響します。お口は食べ物の入り口であるだけでなく、体の、健康の、そして人生の入り口でもあります。歯周病や虫歯を、「ただの歯の病気だから」「最悪の場合歯がなくなるだけだから」と軽く考えると取り返しのつかないことになりますよ。

★全身疾患との関係

最近の研究で、歯周病は、糖尿病・心臓や肺の病気・流産や早産などに関連し、歯をなくすだけでなく全身の健康に大きく影響することがわかってきました。

★糖尿病

糖尿病の人は健康な人の2倍以上歯周病にかかりやすいと言われています。血糖値が上がることでより免疫力が衰え、感染症を悪化させるからです。糖尿病の人は、血糖値のコントロールがうまくいっているか否かが歯周病の治療にも影響します。うまくコントロールできていない場合、せっかく治療をしても、歯周病が悪化したり再発したりしやすいのです。

★心疾患

お口の中の歯周病菌が血流で心臓に運ばれ、心臓の血管が炎症を起こし動脈硬化や心臓発作になる可能性があります。歯周病の人の心疾患での死亡率は健康な人の2～3倍と言われています。

★肺炎

食べ物を飲み込む機能が衰えた老人の場合、あやまって歯周病菌を気管支や肺に送り込むことで誤嚥性肺炎を引き起こすことが知られています。寝たきりの老人に原因不明の微熱が続いた時、お口の中をきれいにすることで治まったという例もあります。

★流産・早産

妊婦が重い歯周病にかかっている場合、歯周病菌が子宮や胎盤に感染したり、歯周病になると体内で増える物質のせいで、早産や低体重児出産・流産になると考えられています。

★他にも

高齢になり、歯が抜けて歯周病にもかかっていたりすると、食べ物が噛めなくなり、そのせいで顔の筋肉が衰え顔立ちが変わる、発音が不明瞭になる、脚力やバランス能力などの運動機能が低下する、うつ病や認知症といった病気になる…。そのうえ脳梗塞にも歯周病が関係していると言われています。たかが「歯の病気」という考えは改めて、健康で長生きするために定期検診に行き、早期発見・早期治療に努めましょう。

